

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：装備費

事業名 警察装備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 装備施設課 電話番号：058-271-2424(内2264)

地域部 地域課 電話番号：058-271-2424(内3571)

警備部 警備第二課 電話番号：058-271-2424(内5761)

E-mail：c18868@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 648,377 千円 (前年度予算額：617,352 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	617,352	138,300	0	0	0	0	1,650	67,400	410,002
要求額	648,377	136,988	0	0	0	0	0	19,500	491,889
決定額	647,863	136,988	0	0	0	0	0	19,500	491,375

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

警察活動に必要な警察装備品や警察車両等を計画的に整備しているが、老朽化に伴う更新整備や新たな装備品等の整備が必要である。

また、警察装備品や警察車両を有効に活用するためには、それらの維持管理に必要な経費の確保が必要である。

(2) 事業内容

警察装備品及び警察車両の整備、維持管理に必要な経費

- ・警察装備品の整備等に必要な経費
- ・警察車両の維持管理に必要な経費
- ・警察車両購入費

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県警察の装備品や車両の更新整備、維持経費等の負担であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	2,062	業務旅費
需用費	421,333	耐刃防護衣、装備用消耗品、車両用消耗品、燃料等
役員費	27,578	車両自賠責 等
委託料	40,363	車両メンテナンス業務委託
その他	157,041	警察車両・原動機付自転車等の購入、自動車重量税 等
合計	648,377	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
警察装備品や警察車両の計画的な整備を行い、警察活動の物的基盤の整備充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

装備品の調達・維持管理に要する経常的なものであり、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	車両等の整備状況 ① 車両関係 更新 捜査用等四輪車33台 ② 装備関係 耐刃防護衣265着、原動機付自転車25台の更新など 車両関係では、地域住民の安全・安心を支える警察活動に必要なパトカーや捜査用車等すべての警察車両を常に最良の状態で運行できるよう維持管理している。 装備品関係では、現場で活動する警察官用の個人装備品等を整備し、有効活用している。
令和4年度	車両等の整備状況 ① 車両関係 更新 捜査用等四輪車30台 ② 装備関係 耐刃防護衣275着、原動機付自転車25台の更新など 車両関係では、地域住民の安全・安心を支える警察活動に必要なパトカーや捜査用車等すべての警察車両を常に最良の状態で運行できるよう維持管理している。 装備品関係では、現場で活動する警察官用の個人装備品等を整備し、有効活用している。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	警察装備品や警察車両共に、警察活動基盤に欠かせないものであり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	警察装備品や警察車両の活用により、警察活動が安全かつ適正に行われている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	警察装備品や警察車両を計画的に整備することにより、警察活動基盤を維持している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 警察装備品や警察車両を常に最適な状態で使用するために適正な維持管理に努め、維持費等の軽減を図るとともに、計画的な整備も進めていかなければならない。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 警察装備品については、事件事故等発生時の警察活動の安全性確保を図るため継続整備していく。警察車両については、ニーズに沿った車種の整備や有効活用のための配置の見直しなどに努めるほか、確実な点検整備等により適正な維持管理に努める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	